

# 患者の皆様へ

2021年6月4日

薬剤部

現在、薬剤部では、レテルモビル（ウイルスによる感染症を予防する薬）がタクロリムスやシクロスポリン（免疫を抑える薬）の血中の濃度に与える影響に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2016年4月～2021年3月に当院で造血幹細胞移植を受けられた患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

**1. 研究課題名** 「レテルモビルがカルシニューリン阻害剤の血中濃度に与える影響」

## 2. 研究の意義・目的

「レテルモビルを併用した造血幹細胞移植におけるカルシニューリン阻害剤の治療を安全に受けて頂くための知見を得ることを目的とする」

## 3. 研究の方法

「対象となる患者さんの診療録に記載されている薬の投与量、血中濃度、臨床検査値の情報をもとに解析を行う。レテルモビル併用時と非併用時の免疫抑制剤の血中濃度を比較する。また他の併用薬等の影響やレテルモビルとカルシニューリン阻害剤の併用による副作用への影響を調べる」

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学医学部附属病院薬剤部の鍵のかかる保管庫で保管します。

## 5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて

掲示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院薬剤部

**本件のお問合せ先** : 医学部附属病院薬剤部 薬剤師 早川 美菜子  
043(222)7171 内線 5596(TDM 製剤室)